

リンゼイ・グレアム：ウクライナについて「驚くべきことが起こる」

トランプが好んで隠さず話すことは「人の度肝を抜くだろう」

【訳者注】これは前の記事の訳者注で引用した、SOTN の短い言葉と呼応するようと思われる。彼が「ウクライナ・ゲイト」と言っているものの意味が、ここではっきりする。そして、グレアムが謎めかせて言っている「内部告発者」こそが、SOTN の言う、トランプ側が「民主党を引っかける」ための、「おとり」(sting) の正体だと考えられる。

リンゼイ・グレアムという共和党上院議員の言うことは、細かい点でわからない点もあるが、非常に常識的で明瞭な、正義漢の見解ではないだろうか？ トランプの力強い盟友であろう。これに対して、わが国のメディアや個人の評者で、汚い民主党側につく人々は、この通りのシナリオが展開した場合、どうするつもりだろうか？

Ian Schwartz, RealClear Politics, @LinseyGraham

September 23, 2019

<https://youtu.be/4SVu4T5eWTY>

上院議員 Lindsey Graham (共、サウスカロライナ) が、ラジオ・ホスト Hugh Hewitt とのインタビューで語る：——トランプ大統領のウクライナ大統領への電話の透明性は、「あらゆる予想を超えたものになるだろう」

Linsey Graham : (ジョー・バイデンの記者会見の後で)・・・そうだと思う。ヤー、OK、ポイントはこういうことだ。大統領と他国の指導者との電話のやり取りは、かなり特権的な状況でなければならない。なぜなら、もしそうでなければ、どうしてアメリカの大統領になって、有効な仕事ができるかわからないからだ。しかし、それはそうとして、この内部告発者についての騒ぎのことだが、私は大統領のやり方を強く応援したい。ご存知のように、彼はこの会話について、できるだけ多くのことを知らせようと、包み隠さずに話している。そして私の考えはこうだ——我々はあと数日もすれば、この電話会談について、もっと多くのことがわかってくる。我々は、この電話がどこまで透明か、その程度について、あっと驚くようなことが起こるだろう。そしてそこから、そのシステムに圧力が加かって、ジョー・バイデンが何のことを話しているのか、ますます明らかになってくるだろう。

Hugh Hewitt (全国的につながるラジオ・ホスト) : ところで2週間前、あなたが言っていたことがある。それはブレット・キャヴァノーに対する中傷のことだった。今度はこれだ。いったいこういうやり方はどこまで続くのだろうか？ それは「トランプ攪乱シンドローム」だ。それはどんな場合にも、メディアを引き付ける。これは軽い問題ではない、いつも(トランプ)弾劾の方へ向かっているからだ。あらゆる民主党のやり方がそうだ。あなたの同僚のエリザベス・ウォレン、同じくカマラ・ハリス、バーニー・サンダース、彼らはみんな弾劾を求めている。このやり方はどこまで続くのだろうか？

LG : まあ、それが終わるのは、彼の第3任期になってからだね。

HH : (笑う)

LG : まさに第3任期だ。しかし彼の第2任期は、相当の困難を覚悟しなければならないと思う。こんなことが起こるだろう——彼らは、アメリカ合衆国大統領の弾劾を、書評されたある専門家の説を根拠にして要求するだろう。この人は、決して起こらなかった性的攻撃をこの本で論じているのだ。全く馬鹿々々しい話だが、それが真相なのだ。

HH : あなたの言うのはキャヴァノー(最高裁判事)のことですね。彼らはキャヴァノーの弾劾を要求しているという——。

LG : その通りだ。

HH : なるほど。

LG : それでこの者たちは、この書評にある通り、キャヴァノーについて書いた本を近く出版するだろう。そしてこの本の中に、性的攻撃と言われるもののことが書かれている。しかし、この本の人物認定の話になると、著者たちは彼女(被害者とされる女)と話したことがないのだ。そして彼女は「あなたは何のことを言っているのか、わからない」と言っている。ところが、それが弾劾の根拠だということだ。それは、完全犯罪などというものではない。それは単に、トランプを理由なしに憎む者たちを、明らかにするだけだ。

HH : ちょっと、大統領の電話についてのリーク話、内部告発について話させてほしい。

LG : どうぞ。

HH：これは、内部告発者の法的資格を破壊する、見事なやり方だ。ところで私は先週、3人の前大統領つきの弁護士たちと話したのだが、内部告発というものの法規は、大統領には当てはまらないのだ。

LG：その通りだ。

HH：しかし民主党が利用してきたすべてがそうだが、大陪審証言の秘密保持が破られたように、ドナルド・トランプへの攻撃が問題の中心になると、法の原則は脇へ押しやられる。彼らは内部告発者の機密を平気で無視する。彼らは大陪審証言の機密保持規約を無視するのだ。トランプを捕まえることが、すべてなのだ。あなたは、メディアが、それがどういうことかを理解していると思いますか？

LG：もし理解していれば、やめるだろう。なぜなら、人々は…あなたは保守的な人間だから。しかし問題は、トランプのことになるとどうかということだ。あなたは、あらゆることを疑わなければならない。Carter Page の逮捕に用いた書類が、いまだに証明できないとは、彼らは、詐欺的な適用に基づいて、FISA Court（外国諜報監視裁判所）から逮捕状を得たのだろうか？ 彼らは Christopher Steele は偏見をもっていると言われた。彼らは平気で前進した。彼らは、ターゲットを保護するための反情報局調査について、トランプには話さなかった。反情報局調査は、人民を保護するものと考えられる。しかし、ここに重要なことがある。電話やり取りの問題になると、これは、どんな大統領でも持ちたがる、最も特権的なものの一つ、外国の指導者との会話であろう。しかし、我々のこの時代では、トランプ大統領が、喜んで真相を暴露しながら、この電話の話をあけっぴろげにして、我々の度肝を抜くことになるだろう。なぜそう言えるかということ、彼は何も悪いことをしたのではなく、何も隠すことをもっていないからだ。そして、それが起こる日はいつかということ、ジョー・バイデンが言う人物とのインタビューについて、真剣に尋問が始まる日である。そこで、私があらゆる予想を超えると考える、大統領からの真相開示を、楽しみに待っていてもらいたい。これが起こると約束はできない。しかし、それが内部告発と言われるもの話になったとき、大統領はあたりの空気を浄化してくれると私は思う。

HH：そこで、これは敏感な問題ですね、上院議員。私は常に子供たちには、私の会話を聞かせないように注意しています。

LG：そうだね。

HH：…なぜなら、公務にある者は… 父親についたしるしが、息子に報いることがあってはいけなから。

LG：全くだ。

HH：ところで、あなたはジョー・バイデンを知っているのか？

LG：知っている。

HH：ハンター・バイデンも知っていますか？

LG：ハンターはあまりよく知らない。Beau Biden はよく知っていて、すばらしい男だった。私はジョー・バイデンを 30 年前から知っている。彼は上品な男だが、ほとんどあらゆることについて間違っている——外交などでは。しかし誠実で正直だ。しかし私にとって問題がある。私はジョーが好きで、バイデン一家を尊敬しているが、もしドン・ジュニアが、トランプが大統領の間に、どこか外国の会社からこれだけの金額をもらったのなら、それは一面記事だということだ。そして我々は、ウクライナで解雇された、ある検察官のことを自慢しながら話している。そして同時に、バイデンの家族の一人が、巨額のカネを世界のこの部分から受け取っている。私は共和党にとって、そこから結論されるのは、他の何よりも、両側に対して法の原則を適用せよ、ということだと思う。

HH：あなたはバイデン親子について、上院司法委員会で公聴会を開きますか？

LG：私は正直に言って、これについて最上の方法は——それはいい質問だ——誰か政治から独立した人に、ロシアについてマラー（ミュラー）にやらせたことを、やっていただくことだと思う。誰かにこれを見せるのだ。それは特別顧問などである必要はない。ただ、このインタビューの実態を見てもらう必要がある。バイデン親子、ジョーとハンターに、カネが支払われたのかどうか？ 何のために払われたのか？ この解雇された検察官と、これらの取引の間に、何か相互の関係があったのかどうか？ 繰り返すが、私はジョー・バイデンを敬愛している。私は彼の家族が好きだ。しかしトランプの家族が、死ぬような経験をしている。彼らがロシアに関して、言ったこと、やったことのすべてが、叩かれている。そして彼らは、2 年に及ぶ調査を受けたのだ。それで私は大統領に対し、新しく選ばれたウクライナの大統領との電話のやりとりについて、全く正直であることを希望する。彼はきっとそう思うと思う。そして私は、司法省の誰かが、ウクライナ問題について調査することを希望する——政治家でなく。

——以上